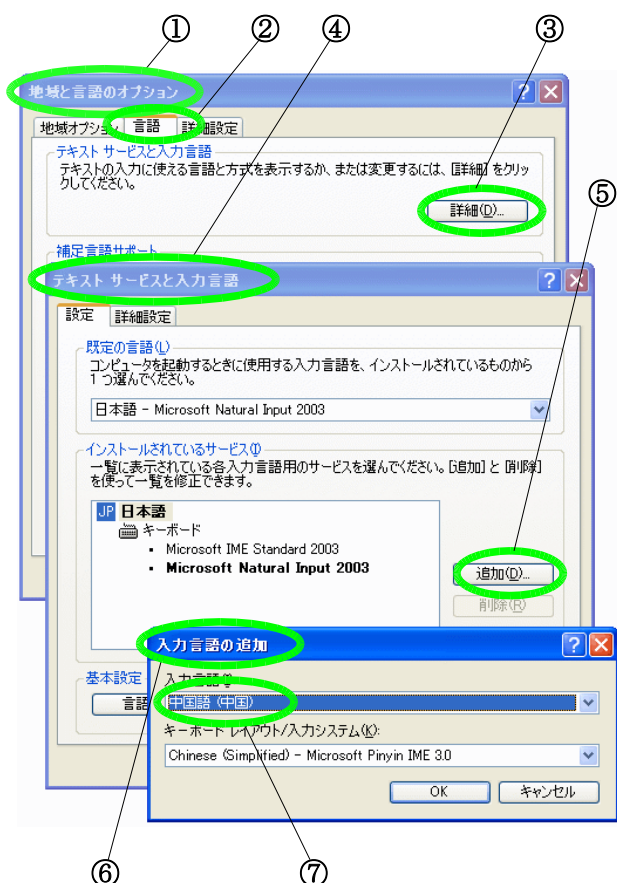


10. 中国語入力のための設定例

「単語・シート処理」の単語追加、または、直接単語シートに中国語を追加する場合に必要な中国語の入力方法の例を紹介します。なお、パソコンの環境によっては、操作が違う場合があります。

a. Windows XPでの設定例



1. Windows XPの「コントロールパネル」で、「日付、時刻、地域と言語のオプション」をクリックした後、「地域と言語のオプション」をクリックして、「地域と言語のオプション」ウィンドウ①を開きます。「コントロールパネル」をクラシック表示にしている場合は、「地域と言語のオプション」をダブルクリックして、「地域と言語のオプション」ウィンドウ①を開きます。

2. 「地域と言語のオプション」ウィンドウ①では、「言語」タブ②を選択し、「詳細」ボタン③をクリックして、「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ④を開きます。

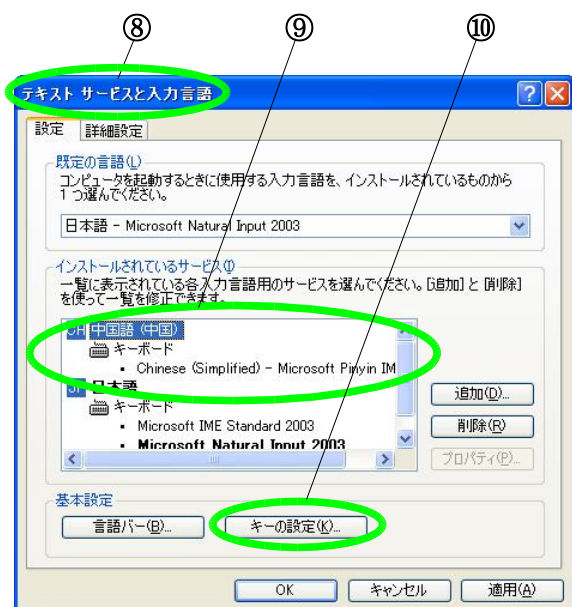
3. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ④では、「追加」ボタン⑤をクリックして、「入力言語の追加」ウィンドウ⑥を開きます。

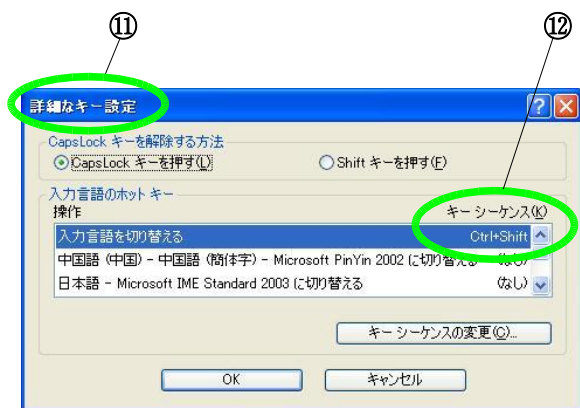
4. 「入力言語の追加」ウィンドウ⑥では、「中国語 (中国)」⑦を選択し、「OK」ボタンをクリックして、「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ⑧に戻ります。

5. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ⑧ に、入力言語として「中国語 (中国)」⑨が追加されました。

「キーの設定」ボタン⑩では、日本語入力モードと中国語入力モードの切り替えをキーボードを用いて行なうための設定を行なうことができます。

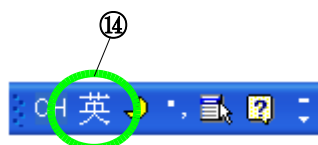
「キーの設定」ボタン⑩をクリックして、「詳細なキー設定」ウィンドウ⑪を開きます。





6. 「詳細なキー設定」ウィンドウ⑪の例では、「キーシーケンス」が、『Ctrl』+『Shift』になっています。この2つのキーを押すことで、日本語と中国語の入力モードを変更できます。

また、「キーシーケンスの変更」ボタンをクリックして、キーシーケンスを変更することができます。



7. 入力モードの切り替え

ー キーシーケンスを使用して切り替える場合

上記「6.」の設定を使用する場合、『Ctrl』+『Shift』キーを押すことで、中国語入力モードに切り替わります。左図の言語バー⑬のように、中国語入力状態になります。

言語バー⑭のように、「英」の状態になっている場合は、『Shift』キーを押して言語バー⑬に変更します。言語バー⑭の「英」の字をクリックしても変更できます。

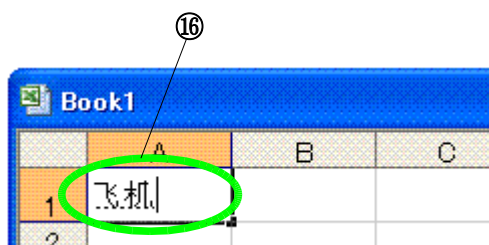
また、日本語モードに戻す時も『Ctrl』+『Shift』キーを押します。

*:特に、⑬、⑭には注意してください。中国語を入力しようとしても⑭の状態になっていることがよくあります。『Ctrl』+『Shift』キーを押す前の状態が関係するようです。

ー 言語バー⑮を使用して切り替える場合

「JP」をクリックすると、メニューが表示されますので、「CH 中国語(中国)」をクリックします。

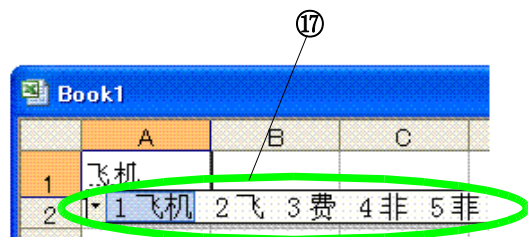
そうすると、言語バー⑬か⑭の状態になります。



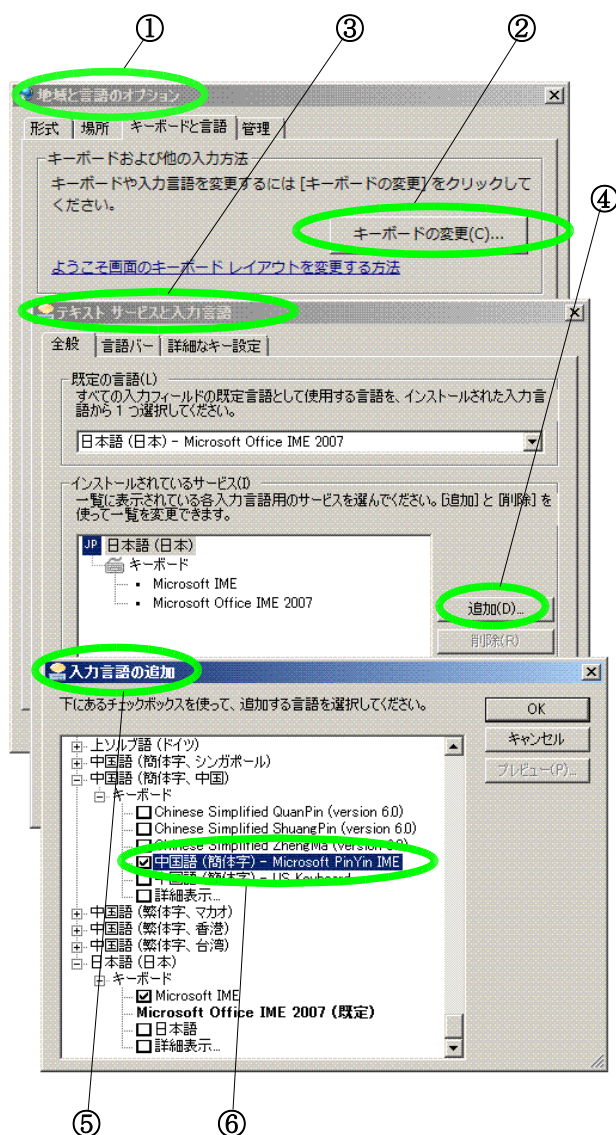
8. 中国語の入力例

上記の設定で中国語入力モードにして、Excelのシートに「feiji」と入力し、『Space』キーを押してから、『→』キーを押すと、左図のように「飞机」⑯と他の単語の候補が表示されます⑰。他の候補へ移動する場合は、表示された候補の前の数値を打ち込むか、『↓』キーを使用します。

候補を表示する必要がない場合は、『→』キーを押す前に『Enter』キーを押すことで、単語を確定できます。



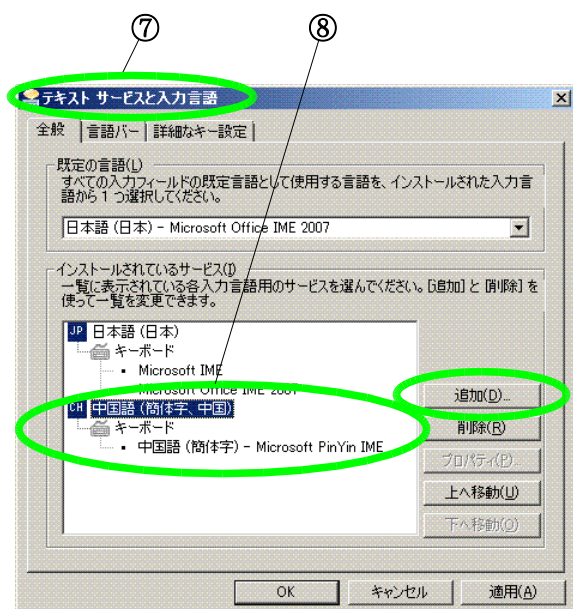
b. Windows Vistaでの設定例



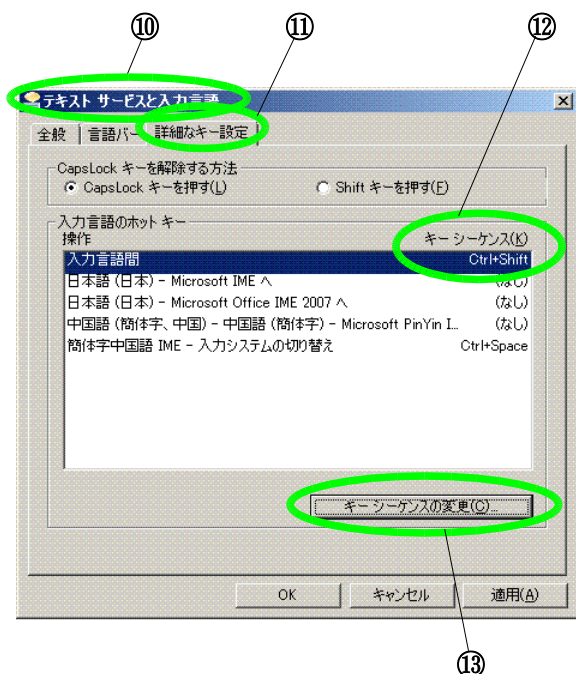
1. Windows Vistaの「コントロールパネル」から、「時計、言語、および地域」をクリックした後、「地域と言語のオプション」をクリックして、「地域と言語のオプション」ウィンドウ①を開きます。「コントロールパネル」をクラシック表示にしている場合は、「地域と言語のオプション」をダブルクリックして、「地域と言語のオプション」ウィンドウ①を開きます。

2. 「地域と言語のオプション」ウィンドウ①では、「キーボードと言語」タブをクリックし、「キーボードの変更」②をクリックして、「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ③を開きます。

3. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ③では、「追加」ボタン④をクリックして、「入力言語の追加」ウィンドウ⑤を開き、「中国語(簡体字)-Microsoft Pinin IME」⑥をチェックして「OK」ボタンをクリックします。



5. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ⑦ に、入力言語として「中国語(簡体字、中国)」⑧が追加されました。



6. 「詳細なキー設定」タブ⑪の例では、「キーシーケンス」⑫が、『Ctrl』+『Shift』になっています。この2つのキーを押すことで、日本語と中国語の入力モードを変更できます。また、「キーシーケンスの変更」ボタン⑬をクリックして、キーシーケンスを変更することができます。



7. 入力モードの切り替え

ー キーシーケンスを使用して切り替える場合

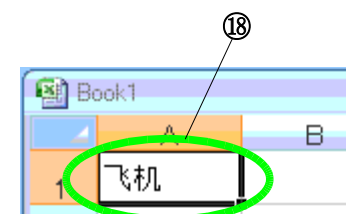
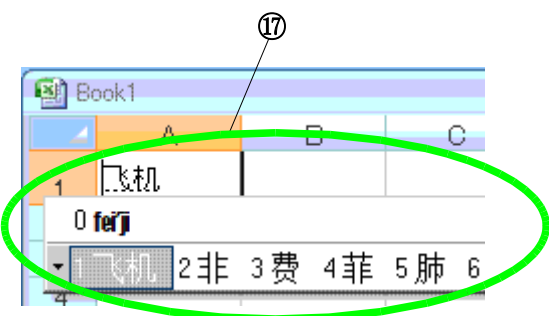
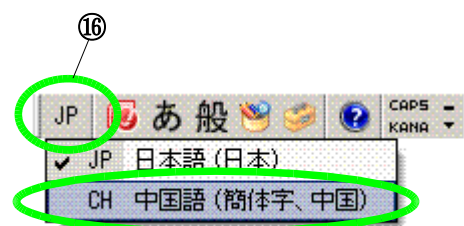
上記「6.」の設定を使用する場合、『Ctrl』+『Shift』キーを押すことで、中国語入力モードに切り替わります。左図の言語バー⑭のように、中国語入力状態になります。

言語バー⑮のように、「英」の状態になっていた場合は、『Shift』キーを押して言語バー⑭に変更します。言語バー⑮の「英」の字をクリックしても変更できます。また、日本語モードに戻す時も『Ctrl』+『Shift』キーを押します。

※:特に、⑭、⑮には注意してください。中国語を入力しようとしても⑮の状態になっていることがよくあります。『Ctrl』+『Shift』キーを押す前の状態が関係するようです。

ー 言語バー⑯を使用して切り替える場合

「JP」をクリックすると、メニューが表示されますので、「CH 中国語(簡体字、中国)」をクリックします。そうすると、言語バー⑭か⑮の状態になります。

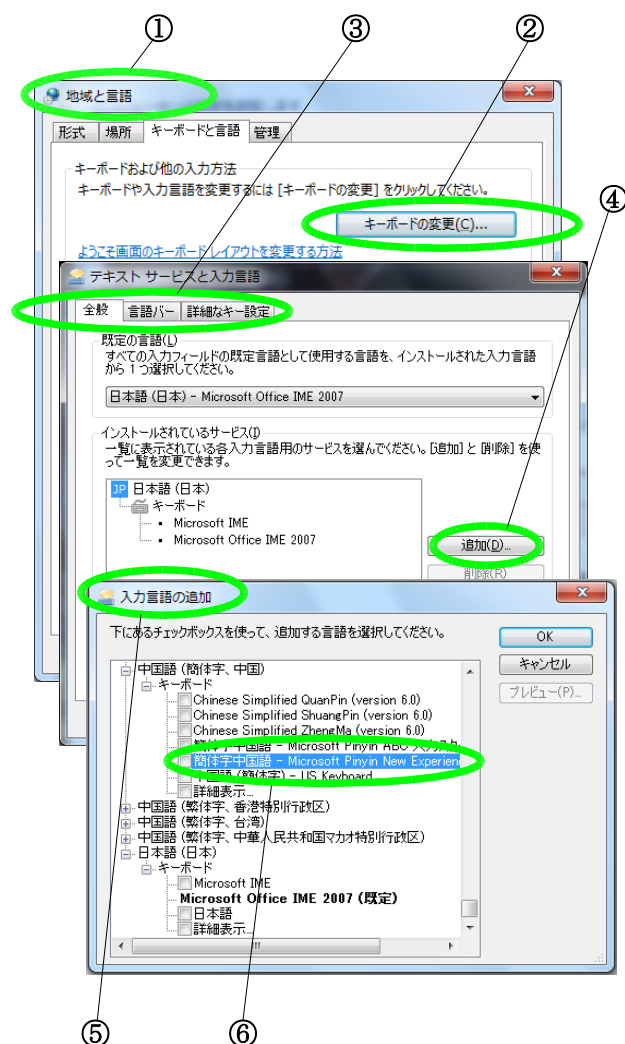


8. 中国語の入力例

上記の設定で中国語入力モードにして、Excelのシートに「feiji」と入力し、『Space』キーを押してから、『→』キーを押すと、左図のように単語の候補が表示されます⑯。他の候補へ移動する場合は、表示された候補の前の数値を打ち込むか、『↓』キーを使用します。

候補を表示する必要がない場合は、『→』キーを押す前に『Enter』キーを押すことで、⑯のように単語を確定できます。

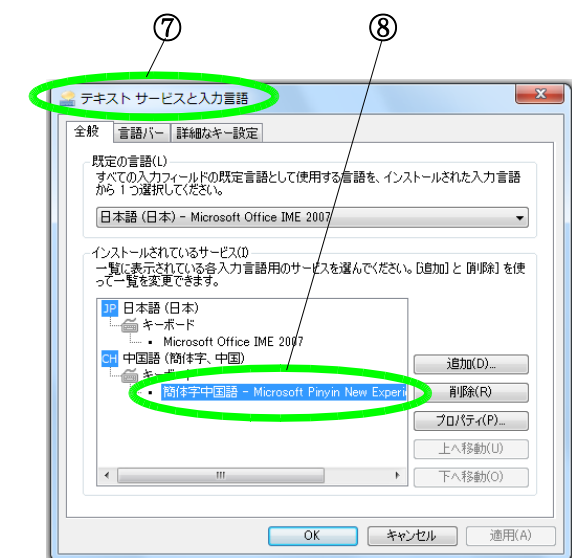
b. Windows 7での設定例



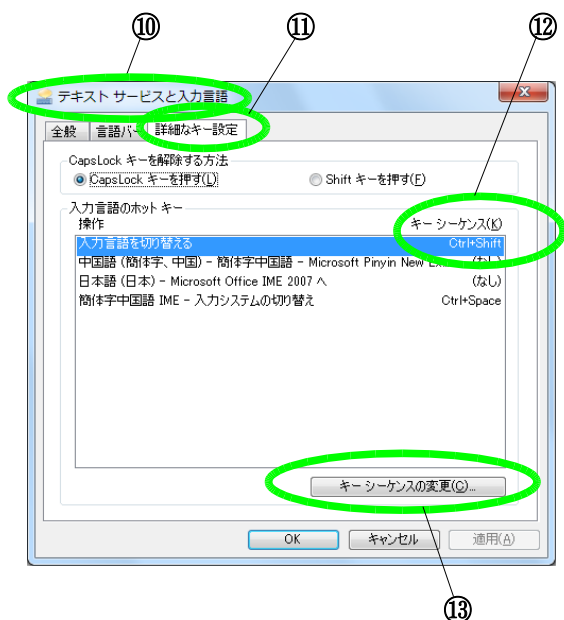
1. Windows 7の「コントロールパネル」から、「地域と言語」をクリックして、「地域と言語」ウィンドウ①を開きます。

2. 「地域と言語のオプション」ウィンドウ①では、「キーボードの変更」②をクリックして、「テキストサービスと入力言語」ウィンドウ③を開きます。

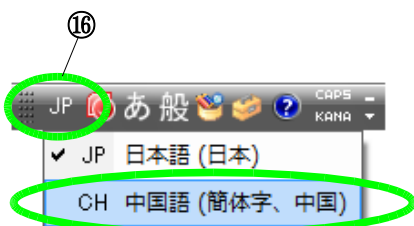
3. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ③では、「追加」ボタン④をクリックして、「入力言語の追加」ウィンドウ⑤を開き、「中国語(簡体字)-Microsoft Pinin IME」⑥をチェックして「OK」ボタンをクリックします。



5. 「テキスト サービスと入力言語」ウィンドウ⑦ に、入力言語として「中国語(簡体字、中国)」⑧が追加されました。



6. 「詳細なキー設定」タブ⑩の例では、「キーシーケンス」⑫が、『Ctrl』+『Shift』になっています。
このキーを押すことで、日本語と中国語の入力モードを変更できます。
また、「キーシーケンスの変更」ボタン⑬をクリックして、キーシーケンスを変更することができます。



7. 入力モードの切り替え

- キーシーケンスを使用して切り替える場合

上記「6.」の設定を使用する場合、『Ctrl』+『Shift』キーを押すことで、中国語入力モードに切り替わります。左図の言語バー⑭のように、中国語入力状態になります。

言語バー⑮のように、「英」の状態になっていた場合は、『Shift』キーを押して言語バー⑭に変更します。言語バー⑮の「英」の字をクリックしても変更できます。

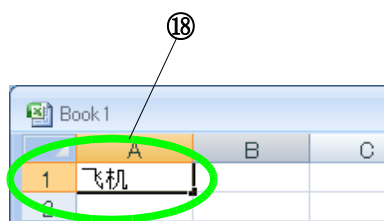
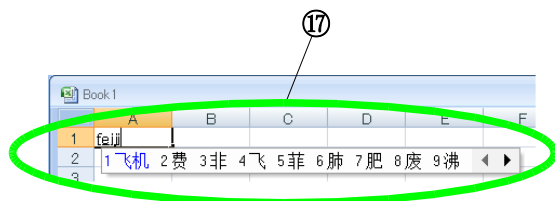
また、日本語モードに戻す時も『Ctrl』+『Shift』キーを押します。

*:特に、⑭、⑮には注意してください。中国語を入力しようとすると、⑮の状態になっていることがあります。

- 言語バー⑯を使用して切り替える場合

「JP」をクリックすると、メニューが表示されますので、「CH 中国語 (簡体字、中国)」をクリックします。

そうすると、言語バー⑭か⑮の状態になり、中国語入力状態になります。



8. 中国語の入力例

上記の設定で中国語入力モードにして、Excelのシートに「fei」を入力し、『Space』キーを押してから、番号「1」を押すと、左図のように単語の候補⑰が表示されます。

候補を表示する必要がない場合は、『Enter』キーを押すことで、⑱のように単語を確定できます。